

AWS 決定ガイド

AWS ストレージサービスの選択



AWS ストレージサービスの選択: AWS 決定ガイド

Copyright © 2025 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon のものではない製品またはサービスと関連付けてはならず、また、お客様に混乱を招くような形や Amazon の信用を傷つけたり失わせたりする形で使用することはできません。Amazon が所有しない商標はすべてそれぞれの所有者に所属します。所有者は必ずしも Amazon と提携していたり、関連しているわけではありません。また、Amazon 後援を受けているとはかぎりません。

Table of Contents

決定ガイド	1
序章	1
を理解する	2
定義	3
移行オプション	4
考慮する	4
選択	8
使用アイテム	11
Explore	16
ドキュメント履歴	18
.....	xix

AWS ストレージサービスの選択

最初のステップを実行する

目的	どの AWS ストレージサービスが組織に最適かを判断するのに役立ちます。
最終更新日	2024 年 6 月 26 日
対象サービス	• Amazon S3 • Amazon EBS • Amazon EFS • Amazon FSx • Amazon ファイルキャッシュ • AWS Backup • AWS DataSync • AWS Snow Family • AWS Storage Gateway • AWS Transfer Family

序章

AWS は、データを保存、アクセス、保護、分析するための、信頼性が高く、スケーラブルで安全なストレージサービスの幅広いポートフォリオを提供します。これにより、ストレージメソッドをニーズに合わせやすくなり、オンプレミスインフラストラクチャでは簡単には実現できないストレージオプションが提供されます。ストレージサービスを選択するときは、アクセスパターンに合わせる必要があり、必要なパフォーマンスを達成するために不可欠です。

ブロック、ファイル、オブジェクトストレージサービス、およびワークロードのクラウドデータ移行オプションから選択できます。ワークロードに適したストレージサービスを選択するには、ビジネスニーズに基づいて一連の決定を行う必要があります。

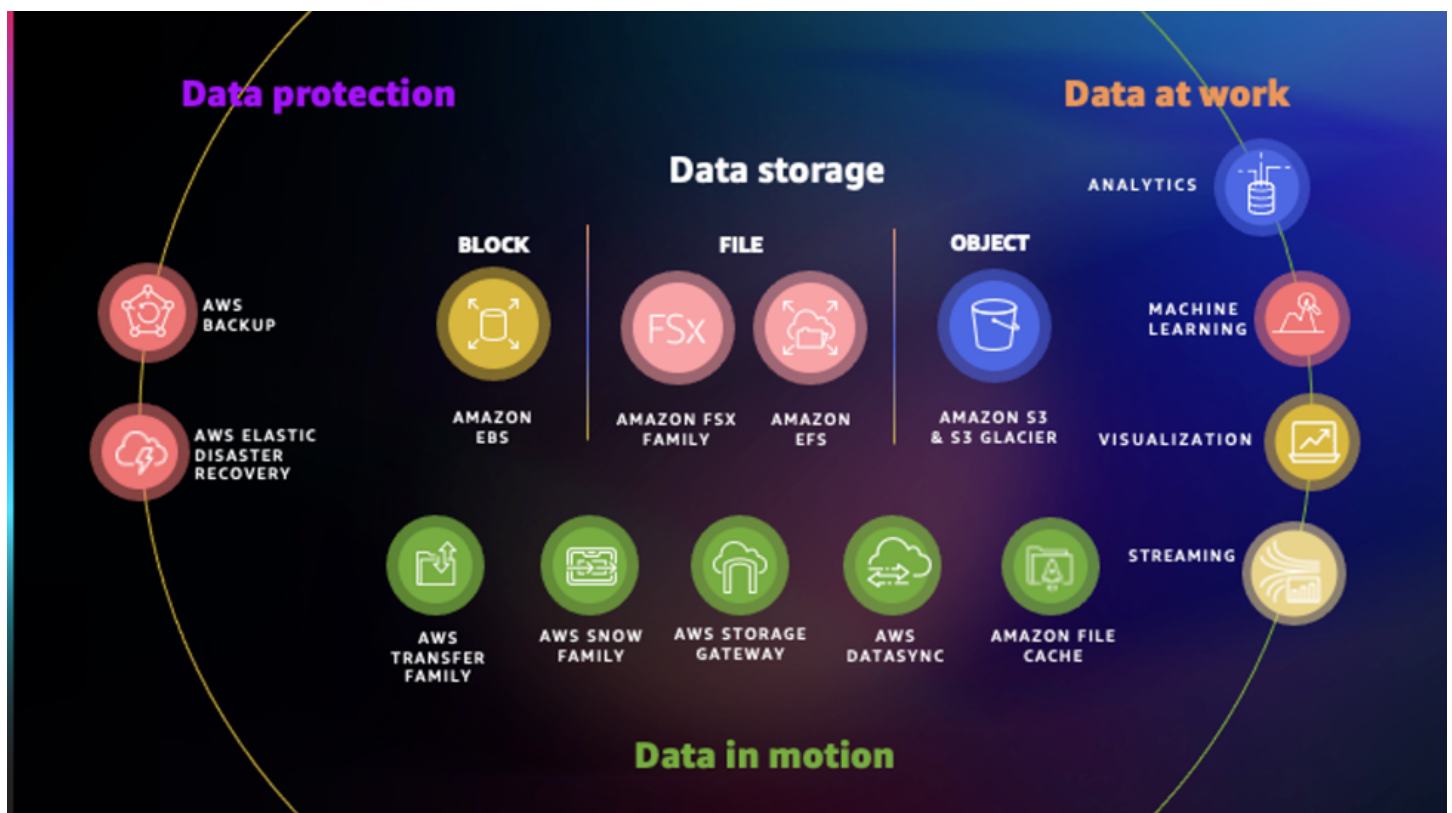
この決定ガイドは、適切な質問を行い、実装の明確な道筋を示し、既存のオンプレミスストレージから移行するのに役立ちます。

この 6 分間のクリップは、AWS シニアストレージソリューションアーキテクトの Kevin McDonald と Victor Munoz による 2022 AWS 年サミットでのプレゼンテーションの 55 分間の記録からのものです。使用可能な AWS ストレージサービスの概要を示します。

を理解する

データは、アプリケーションデプロイ、分析ワークフロー、機械学習のイノベーションを成功させるための基盤です。Well-Architected システムは複数のストレージサービスを使用し、さまざまな機能を有効にしてパフォーマンスを向上させます。

ただし、多くの場合、適切なストレージサービスの選択は、既に使用しているもの (または使い慣れているもの) とどの程度一致しているかから始まります。使い慣れたストレージサービスを使用すると、開始が容易になり、データの移行が簡単になり、さらに高速になる可能性があります。



例えば、Amazon FSx データストレージファミリーのサービスには、一般的なファイルシステムに合わせた 4 つのオプションがあります。

- Amazon FSx for Windows File Serverは、フルマネージドの Microsoft Windows ファイルサーバーで、完全にネイティブの Windows ファイルシステムでバックアップされています。
- Amazon FSx for Lustre では、高性能 Lustre ファイルシステムを起動して実行できます。

- Amazon FSx for OpenZFS は、オンプレミスの ZFS または他の Linux ベースのファイルサーバー AWS から にデータを移動できるフルマネージドファイルストレージサービスです。
- Amazon FSx for NetApp ONTAP は、NetApp の一般的な ONTAP ファイルシステム上に構築された、信頼性、スケーラビリティ、高性能、機能豊富なファイルストレージを提供するフルマネージドサービスです。

定義

次のストレージタイプには AWS サービスオプションがあります。

- **ブロック** — ブロックストレージは、データストレージとストレージデバイスを制御するテクノロジーです。ファイルやデータベースエントリなどのデータを取得し、同じサイズのブロックに分割します。次に、ブロックストレージシステムは、高速なアクセスと取得のために最適化された方法で、基盤となる物理ストレージにデータブロックを保存します。
- **ファイルシステム** — ファイルシステムは、ファイルとフォルダの階層構造にデータを保存します。ネットワーク環境では、ファイルベースのストレージは多くの場合、ネットワーク接続ストレージ (NAS) テクノロジーを使用します。NAS を使用すると、ユーザーはローカルハードドライブと同様の方法でネットワークストレージデータにアクセスできます。ファイルストレージはユーザーフレンドリで、ユーザーはファイル共有コントロールを管理できます。
- **オブジェクト** — オブジェクトストレージは、データをオブジェクトと呼ばれる非構造化形式で保存および管理するテクノロジーです。各オブジェクトには一意の識別子がタグ付けされ、基盤となるコンテンツを説明するメタデータが含まれます。
- **キャッシュ** — キャッシュは、システムパフォーマンスの向上とレイテンシーの低減を目的として、頻繁にアクセスされるデータや最近使用されたデータをアクセスポイントの近くに一時的に保存するために使用する高速データストレージレイヤーです。これは、低速かつ大規模なプライマリストレージ (ディスクやリモートストレージなど) と、データにアクセスする必要があるコンピューティングリソースとの間のバッファとして機能します。
- **Hybrid/Edge** — Hybrid/Edge ストレージは、オンプレミスのストレージインフラストラクチャとクラウドストレージサービスを組み合わせて、パフォーマンス、コスト、コンプライアンスなどの要件に基づいて 2 つの環境間のデータモビリティを可能にします。低レイテンシーアクセス、コスト最適化、データ主権、クラウドスケーラビリティ、ビジネス継続性などの利点があります。

移行オプション

ストレージサービスを選択するだけでなく、選択したサービス内でのデータの移行方法も選択する必要があります。AWS では、オンラインまたはオフラインのどちらでデータを移行する必要があるかに応じて、いくつかの選択肢が用意されています。

- オンライン移行では、オンプレミスデータセンターで実行中に、データとアプリケーションをインターネット経由で転送します。このアプローチは、ダウンタイムを最小限に抑え、組織がクラウドリソースをより早く使用を開始できるため、オフライン移行よりも効率的です。ただし、信頼性の高いインターネット接続が必要であり、大量のデータやミッションクリティカルなアプリケーションには適していない可能性があります。
- オフライン移行では、インターネットに接続せずにデータとアプリケーションを移動します。このアプローチでは、外部ハードドライブやその他のストレージメディア上のデータをクラウドプロバイダーのデータセンターに物理的に転送する必要があります。この方法は、通常、転送する大量のデータ、帯域幅や接続の制限、セキュリティやプライバシーに関する懸念がある場合に使用されます。

重要な考慮事項は 2 つあります。

- 速度 - 速度が重要な場合はオンライン移行を選択します。オンラインは分または時間単位で測定され、オフラインは日単位で測定できます。データが頻繁に更新され、タイムクリティカルな場合は、オンラインを選択します。タイムクリティカルではなく、1 回限りの移動の場合はオフラインを選択します。
- 帯域幅 - データをオンラインに移動すると、day-to-day 帯域幅から解放されます。ネットワーク制約があり、転送中にビジネスを中断することなくデータをオフラインにできる場合は、オフラインを選択します。Snow Family の AWS サービスは、オフライン移行のオプションを提供します。

考慮する

既存のアプリケーションをクラウドに移行するか、クラウドで新しいアプリケーションを構築するため、AWS ストレージサービスを検討している可能性があります。クラウドにデータを移動するときは、データを移動する場所、潜在的なユースケース、移動するデータの種類、使用可能なネットワークリソースを理解することが重要です。

AWS ストレージサービスを選択する際に考慮すべき基準をいくつか示します。

Protocol

AWS ストレージサービスには、複数のプロトコルオプションが用意されています。

- ブロックストレージは、低レイテンシーアクセスのコンピューティングインスタンスに直接アタッチされる高性能ストレージを提供するため、高速で一貫性のある I/O オペレーションを必要とするアプリケーションに適しています。
- ファイルベースのストレージは、NFS や SMB などの業界標準プロトコルを使用して、事実上すべてのオペレーティングシステムからネイティブにマウントできます。複数のコンピューティングインスタンス間で共有データにアクセスする必要があるワークロードにシンプルなストレージを提供します。
- オブジェクトストレージは、インターネット上のアプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を介してデータに簡単にアクセスでき、読み取り負荷の高いワークロード (ストリーミングアプリケーションやサービスなど) に適しています。

プロトコルは、AWS ストレージ環境内のデータへのアクセス、転送、管理方法を決定する際に、ストレージサービスを検討するときに重要な役割を果たします。

Client type

データにアクセスするクライアントのオペレーティングシステムを考慮することが重要です。Windows ベースのクライアントは、Amazon FSx for Windows File Server などのファイルベースのストレージオプションを使用できます。Windows アプリケーションに高可用性ストレージを提供し、サーバーメッセージブロック (SMB) を完全にサポートします。

Amazon FSx for Lustre (高性能ファイルシステム用) は、Unix/Linux ベースのファイルシステムで使用するよう設計されています。FSx for Lustre は、機械学習、ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)、ビデオ処理、財務モデリングなど、速度が重要なワークロード向けに最適化されています。

ワークロード間でデータに簡単にアクセスして共有できるようにするには、AWS ストレージサービスのクライアントタイプを選択することが不可欠です。クライアントが使用するファイルシステムやプロトコルと互換性のあるサービスを選択することは、互換性の問題を回避し、シームレスなデータアクセスと転送を確保するために重要です。

Performance

パフォーマンスは、AWS ストレージサービスを選択するときに考慮すべき重要な要素です。IOPS (1 秒あたりの入力/出力オペレーション)、アクセスパターン、レイテンシー、スルー

プットまたは帯域幅など、ストレージのパフォーマンスを評価する際に考慮すべき要素がいくつかあります。次のような質問をすることが重要です。

- ワークロードのレイテンシーは影響を受けますか？
- 他のメトリクス (IOPS やスループットなど) がアプリケーションのパフォーマンスプロファイルを支配していますか？
- ワークロードが読み取りまたは書き込みが多いか。

Migration strategy and risks

組織のスキルは、使用するコンテナサービスを決定する際の重要な要素です。実行するアプローチでは、DevOps チームと Site Reliability Engineer (SRE) チームへの投資が必要になる場合があります。自動パイプラインを構築してアプリケーションをデプロイすることは、ほとんどの最新のアプリケーション開発で一般的です。

オンプレミスストレージを に移行するときに考慮すべき要素 AWS は次のとおりです。

- データ転送: データ転送の最も効率的な方法は何ですか AWS？
- 互換性: 例えば、NetApp ONTAP アプライアンスのオンプレミスサービス (Amazon FSx for NetApp ONTAP など) を既に活用している場合、シームレスな移行パスが提供されます。
- アプリケーション統合: アプリケーションが AWS ストレージサービスとどのように統合されるかを評価します。アプリケーションと AWS 環境間のシームレスな接続と機能を有効にするために必要な変更や設定を検討してください。
- データ管理とライフサイクル: 環境内のバックアップ、レプリケーション、ライフサイクル管理などのデータ管理タスクを計画します AWS 。バージョニング、ライフサイクルポリシー、クロスリージョンレプリケーションなど、これらのタスクの自動化に役立つ AWS サービスと機能を検討してください。
- セキュリティとコンプライアンス: 移行プロセス中にデータが安全であることを確認してください。暗号化やアクセスコントロールなどの適切なセキュリティ対策を実装して、転送中と保管中のデータを保護します。
- コストの最適化: ストレージソリューションを に移行することによるコストへの影響を分析します AWS。ストレージ料金、データ転送コスト、コストの最適化に必要な関連サービスや機能などの要因を考慮してください。

これらの要素を慎重に検討することで、オンプレミスのストレージソリューションから AWS ストレージサービスへの移行を確実に成功させ、中断を最小限に抑え、クラウドストレージの利点を最大化できます。

Backup and protection requirements

バックアップと保護の要件は、データの可用性と耐久性を確保するのに役立つため、AWS ストレージサービスを選択するときに考慮すべき重要な要素です。

適切なバックアップと保護対策がないと、偶発的な削除、ハードウェア障害、または自然災害によってデータが失われ、ビジネスに重大な影響を及ぼす可能性があります。

オンデマンドで[AWS Backup](#)、またはスケジュールされたバックアッププランの一部として自動的にデータをバックアップできるなどのサービスに精通しておいてください。AWS Backup または、本番データから最小限の距離でバックアップを保存するためのビジネス継続性またはコンプライアンス要件がある場合に特に役立つクロスリージョンレプリケーションも提供します。

Disaster recovery

災害対策は、災害や停止が発生した場合にビジネス継続性を確保するのに役立つため、AWS ストレージサービスを選択する際の重要な考慮事項です。災害は、自然災害、人為的ミス、サイバー攻撃などのさまざまな要因によって引き起こされ、大量のデータ損失やダウンタイムにつながる可能性があります。

複数のアベイラビリティゾーンにまたがるレプリケーションなどのディザスタリカバリ機能を提供するストレージサービスを選択すると、災害がビジネスに与える影響を最小限に抑えることができます。ディザスタリカバリオプションを評価するときは、目標復旧時間 (RTO) や目標復旧時点 (RPO) などの要素を考慮し、ビジネスニーズを満たすストレージサービスを選択することが重要です。

Cost

基本ストレージコスト以外にも、ストレージ容量、データ転送、可用性など、ストレージの総コストに影響する料金に影響するその他の要因があります。以下は、AWS ストレージサービスを使用する際のコストを削減するのに役立ちます。

- ワークロードタイプに適したストレージサービスを使用します。
- [AWS Cost Explorer](#) およびその他の[請求ツールを使用して](#)、組織の速度をモニタリングします。
- データとその使用方法を理解します。

また、AWS ストレージサービスを選択するときは[AWS 料金見積りツール](#)、を使用してコストを見積もることをお勧めします。

Security

のセキュリティ AWS は[責任を共有](#)します。は、お客様がアプリケーションを構築およびデプロイするための安全な基盤 AWS を提供しますが、お客様はデータ、アプリケーション、インフラストラクチャを保護するための独自のセキュリティ対策を実装する責任があります。

AWS ストレージサービスを選択するときは、アクセスコントロール、データ暗号化、コンプライアンス要件、モニタリングとログ記録、インシデント対応などのセキュリティの側面を考慮する必要があります。これにより、AWS サービスの使用中にデータを確実に保護できます。

選択

ストレージオプションの評価に使用する基準がわかったので、ビジネスニーズに適した AWS ストレージサービスを選択する準備が整いました。

次の表は、どのストレージオプションがどの状況に最適化されているかを示しています。これを使用して、ユースケースに最適なものを決定できます。

ストレージタイプ	何に最適化されていますか？	ストレージサービスまたはツール
Block	Applications requiring low-latency, high-performance durable storage attached to single Amazon EC2 instances or containers, such as databases and general-purpose local instance storage.	Amazon EBS Amazon EC2 インスタンスストア
ファイルシステム	複数の Amazon EC2 インスタンスまたはコンテナ、またはチームファイル共有、高可用性のエンタープライズアプリケーション、分析ワークロード、ML トレーニングなど、複数のオンプレミスサーバー間	Amazon EFS Amazon FSx Amazon FSx for Lustre Amazon FSx for NetApp ONTAP

ストレージタイプ	何に最適化されていますか？	ストレージサービスまたはツール
	での読み取りおよび書き込み共有アクセスを必要とするアプリケーションとワークロード。	Amazon FSx for OpenZFS Amazon FSx for Windows File Server Amazon S3 ファイルゲートウェイ Amazon FSx ファイルゲートウェイ
Object	Read-heavy workloads such as content distribution, web hosting, big data analytics, and ML workflows. Well-suited for scenarios where data needs to be stored, accessed, and distributed globally over the internet.	Amazon S3
Cache	オンプレミスの NFS ファイルシステムやクラウドファイルシステム (Amazon FSx for OpenZFS、Amazon FSx for NetApp ONTAP)、Amazon S3 など、さまざまな場所に保存されているファイルデータを処理 AWS するためのフルマネージド、スケーラブル、高速キャッシュ。	Amazon ファイルキャッシュ

ストレージタイプ	何に最適化されていますか？	ストレージサービスまたはツール
ハイブリッド/エッジ	低レイテンシーのデータをオンプレミスアプリケーションに配信し、オンプレミスアプリケーションに Cloud-Backed ストレージへのアクセスを提供します。	AWS Storage Gateway テープゲートウェイ AWS Storage Gateway ボリュームゲートウェイ

次の表に、オンラインオプションとオフラインオプションの詳細を示します。

移行オプション	速度が優先される場合	帯域幅が重要な場合	ストレージサービスまたはツール
Online	Online is optimized for frequent updates to data. Use it for time-critical or ongoing workloads.	Consider scheduling your transfer during off hours when you have sufficient bandwidth.	AWS DataSync AWS Transfer Family Amazon FSx for NetApp ONTAP SnapMirror AWS Storage Gateway
オフライン	Suitable for one-time or periodic uploads - and when data can be static in transit.	この選択は、使用可能な最小帯域幅のみを使用する必要があり、物理的な移動の予測可能性を好む場合に理にかなっています。	AWS Snowball

使用アイテム

データ、パフォーマンス要件、およびこのガイドで説明されているその他の基準を使用するために必要な最適なプロトコルを決定したので、ニーズに最適なストレージサービスについても理解しておく必要があります。

を使用し、利用可能な各 AWS ストレージサービスの詳細について調べる方法を調べるために、各サービスの仕組みを調べるための経路を用意しました。次のセクションでは、詳細なドキュメント、実践的なチュートリアル、開始するためのリソースへのリンクを提供します。

Amazon S3

- Amazon S3 の開始方法

このガイドは、バケットとオブジェクトを使用して Amazon S3 の使用を開始するのに役立ちます。バケットはオブジェクトのコンテナです。オブジェクトは、ファイルと、そのファイルを説明する任意のメタデータです。

[ガイドを見る](#)

- Amazon S3 のパフォーマンスの最適化

Amazon S3 からストレージをアップロードおよび取得するアプリケーションを構築する場合は、このホワイトペーパーの AWS ベストプラクティスガイドラインに従ってパフォーマンスを最適化してください。

[ホワイトペーパーを読む](#)

- Amazon S3 チュートリアル

次のチュートリアルでは、Amazon S3 の一般的なタスクにおけるエンドツーエンドの一連の手順について説明します。これらのチュートリアルはラボタイプの環境を対象としており、一般的なガイダンスを提供します。

[チュートリアルの開始方法](#)

Amazon EBS

- Amazon EBS の開始方法

Amazon EBS は、すばやくアクセスでき、長期的な永続性を必要とするデータに推奨されます。

[ガイドを見る](#)

- Amazon EBS ボリュームを作成する

Amazon EBS ボリュームは、耐久性に優れたブロックレベルのストレージボリュームであり、インスタンスにアタッチできます。

[チュートリアルを始める](#)

- Amazon EBS direct APIs を使用して Amazon EBS スナップショットの内容にアクセスする

直接 APIs、Amazon EBS スナップショットの作成、スナップショット上のデータの書き込みと読み取り、および違いの識別を行うことができます。

[ガイドを見る](#)

Amazon EFS

- Getting started with Amazon EFS

Amazon EFS ファイルシステムを作成する方法について説明します。ファイルシステムを VPC の Amazon EC2 インスタンスにマウントし、end-to-endのセットアップをテストします。

[チュートリアルを始める](#)

- ネットワークファイルシステムを作成する

ファイルの保存と Amazon EFS ファイルシステムの作成、Amazon EC2 での Linux 仮想マシンの起動、ファイルシステムのマウント、ファイルの作成、インスタンスの終了、ファイルシステムの削除を行う方法について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- Apache ウェブサーバーをセットアップし、Amazon EFS ファイルを提供する

Auto Scaling グループを作成して、Amazon EC2 インスタンスで Apache ウェブサーバーをセットアップし、複数の Amazon EC2 インスタンスで Apache ウェブサーバーをセットアップする方法について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

Amazon FSx

- Amazon FSx の開始

この入門ガイドでは、Amazon FSx の使用を開始するために必要な操作について説明します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon FSx for Lustre の開始方法

Amazon FSx for Lustre ファイルシステムを使用して、ファイルベースのアプリケーションで Amazon S3 バケット内のデータを処理する方法について説明します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon FSx for Windows File Server とは

このガイドでは、Amazon FSx for Windows File Server の概要を説明します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon FSx for NetApp ONTAP の開始方法

Amazon FSx for NetApp ONTAP の使用を開始する方法を説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- Amazon FSx for OpenZFS の使用を開始する方法について説明します。

このガイドでは、Amazon FSx for OpenZFS の概要を説明します。

[チュートリアルを始める](#)

Amazon File Cache

- Amazon File Cache の開始方法

Amazon File Cache リソースを作成し、コンピューティングインスタンスからアクセスする方法について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- アクション中の Amazon ファイルキャッシュ

この動画では、Amazon File Cache をオンプレミスのファイルシステムに保存されているデータの一時的な高性能ストレージの場所として使用する方法を示します。

[動画を見る](#)

AWS Storage Gateway

- Amazon S3 File Gateway のユーザーガイド

Amazon S3 File Gateway の概念について説明し、コンソールと API の両方でさまざまな機能を使用する手順を示します。

[ガイドを見る](#)

- Amazon FSx File Gateway のユーザーガイド

オンプレミス施設からクラウド内の Amazon FSx for Windows File Server 共有へのアクセスを提供する Amazon FSx File Gateway について説明します。コンソールと API の操作手順が含まれています。

[ガイドを見る](#)

- テープゲートウェイのユーザーガイド

AWS クラウドにデータをアーカイブするための耐久性とコスト効率に優れたテープベースのソリューションであるテープゲートウェイについて説明します。コンソールと API の両方でさまざまな機能を使用するための概念と手順について説明します。

[ガイドを見る](#)

- ボリュームゲートウェイのユーザーガイド

キャッシュ型ボリュームアーキテクチャとストアド型ボリュームアーキテクチャの詳細を含むボリュームゲートウェイの概念について説明し、コンソールと API の両方で機能を使用する手順を示します。

[ガイドを見る](#)

AWS DataSync

- の開始方法 AWS DataSync

このガイドでは、AWS DataSync を使用して を開始する方法について説明します AWS Management Console。

[ガイドを見る](#)

- データが保存される場所を問わず、マルチクラウドデータの移動を簡素化する AWS DataSync

AWS DataSync は、増分転送、アクセスコントロールのための IAM との統合、データ移行、レプリケーション、AWS リージョン または アカウント間の分散などのユースケースをサポートします。

[ブログを読む](#)

- AWS DataSync のチュートリアル

これらのチュートリアルでは、 を使用した実際のシナリオ AWS DataSync とデータ転送について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

AWS Transfer Family

- の開始方法 AWS Transfer Family

Amazon S3 ストレージを使用してパブリックにアクセス可能なエンドポイントを持つ SFTP 対応サーバーを作成し、サービスマネージド認証でユーザーを追加し、Cyberduck でファイルを転送する方法について説明します。

[チュートリアルを始める](#)

- AWS Transfer Family 実行中

この動画では AWS Transfer Family 、サポートされている 3 つのプロトコル (SFTP、FTPS、FTP) のそれぞれで をパブリックインターネットと VPC の両方でどのように使用できるかを示します。

[動画を見る](#)

- AWS Transfer Family AS2 の

で Applicability Statement 2 (AS2) 設定をセットアップする方法について説明します AWS Transfer Family。

- AWS Transfer Family SFTP コネクタ

SFTP コネクタをセットアップし、Amazon S3 ストレージと SFTP サーバー間でファイルを転送する方法について説明します。

AWS Snow Family

- の開始方法 AWS Snow Family

これらのガイドには、Snow Family のすべての現在のサービスに関するドキュメントへのリンクが記載されています。

[ガイドを見る](#)

- AWS Snowball Edge デベロッパーガイド

このガイドには、ローカルストレージとコンピューティング、クラスタリング、Amazon S3 へのデータのインポートとエクスポート、Snowball Edge デバイスのその他の機能に関するガイドランスが含まれています。

[ガイドを見る](#)

Explore

- 開発者
- [ソリューションアーキテクト](#)
- [意思決定者](#)

- アーキテクチャ図

上のコンテナのリファレンスアーキテクチャ図をご覧ください AWS。

[アーキテクチャ図を調べる](#)

- ホワイトペーパー

開始してベストプラクティスを学ぶのに役立つホワイトペーパーをご覧ください。

[ホワイトペーパーの詳細](#)

- AWS ソリューション

コンテナの一般的なユースケースについて、厳選されたソリューションとアーキテクチャガイダンスをご覧ください。

[ソリューションを詳しく見る](#)

ドキュメント履歴

次の表に、この決定ガイドの重要な変更点を示します。このガイドの更新に関する通知については、RSS フィードをサブスクライブできます。

変更	説明	日付
ガイドが更新されました	docs.aws.amazon.com に移行し、「理解」、「検討」、「選択」、「使用」セクションに軽微な更新を行いました。	2024 年 6 月 26 日
ガイドが更新されました	AWS Copilot、AWS Batch、を追加しました AWS Outposts。容量、オーケストレーション、プロビジョニングをコンピューティング容量、オーケストレーション、垂直的ソリューションに変更しました。編集上の変更が多数あります。	2024 年 4 月 5 日
初版発行	ガイドが最初に公開されました。	2023 年 4 月 26 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。